

資産運用レポート：心理バイアスの克服

1 はじめに

会社の部分所有権である株式は、資本主義社会における最も有利な投資対象です。にもかかわらず、大半の個人投資家が株で損をしてしまうのはなぜでしょうか。

その答えは、私たちの心の中にあります。人間が本能的に持っている心理バイアスにより、感情の赴くままに売買を行えば損をするようにできているからです。

株式投資で資産を築くためには、心理バイアスについての理解を深め、心理バイアスの悪影響を克服するための改善に取り組むしかありません。

今回の資産運用レポートでは、代表的な心理バイアス 5 つとその予防策を取り上げます。

- ディスポジション効果
- 自信過剰
- 認知的不協和
- 代表制と慣れ
- 群集心理

2 ディスポジション効果

投資家は、含み益を失いたくない恐怖心から、買値より上昇した「勝ち組」銘柄をすぐに手放してしまいます。

一方、間違いを認めて含み損を確定するのが嫌で、買値より下落した「負け組」銘柄をなかなか売れず、長く持ちすぎます。

これらを総称して「ディスポジション効果（気質効果）」と呼びます。では、この心理バイアスに影響された売買を続ければどうなるのでしょうか？

「勝ち組」銘柄は僅かの利益で売ってしまったので、もう手元にはありません。一方「負け組」を売らずに持ち続けるため、含み損がじわじわと拡大します。やがて持株が売りに売れない「負け組」銘柄だらけの塩漬けポートフォリオとなり、最終的には身動きが取れなくなります。

そんな状況で、株式市場全体が大幅な下落に見舞われれば、一卷の終わりです。取り返しのつかない損失を被りかねません。

このディスポジション効果は、心理バイアスの最たるものです。投資家自身が対応を行い、ディスポジション効果の影響を少しでも食い止められれば、パフォーマンスを相当に改善できる可能性があります。さっそく、予防策について見ていきましょう。